



～社訓\*誠意～

## 社長室だより



2020年2月末号

今年の冬は特に地球温暖化を感じた。冬らしい冷え込みの朝も少なかったし、大雪もなく何年か前のトラックの中で何時間も缶詰めとなり普及不眠で納品したら賞味期限が切れるから持ち帰れと言われ、大量の草餅を配ったことが懐かしいくらい。我業界の使命、切なさを痛感もしたあの日。今年は大震災でなくコロナで逆に大雪よりたちが悪い状況だ。初期対応の遅れ、過ちが今、世界の経済を揺るがし、私たちの生活を脅かしている。神様は地球に人間が増えすぎると定期的に調整するかのごとく定期的に戦争を起こしていたが、人間が学習し平和な社会を築こうとするとわけのわからん疫病を発生させる。エイズや鳥インフルエンザ、サーズそして今回のコロナウイルス。今まさに正念場だろう。医学会は対処できる薬の特定に。政府は国民に感染拡大の防止策を。今月は難しい事を言うつもりは無くここからなのですよお伝えしたいのは。

昨日もスーパーへ行くとマスクはおろか除菌スプレー、除菌と名がつく商品の棚がもぬけの空。あげくの果てにトイレットペーパー迄いつもの3分の1しか置いてない。友人に会うとトイレットペーパー2袋ぶら下げている。訳を聞くと家のそばではもう売り切れてないのでここまで来た。一昔前のバカ騒ぎを思い出した。

冷静になろうよ！マスクも除菌スプレーもため込んでどうするの？ヤフオクで通常の何倍もの値段で売るのは？人としてどうなの？本当に必要な人たちに回らないじゃない！事態を悪化させるだけだと思わないのかな～。

帰宅途中ラジオでこの気持ちを落ちつかせてくれたラジオ番組の投稿を聞いた「マスクが入荷するとの情報を聞いて店の前に整理券を求め長蛇の列が、そこで並んでいると私の前の方で並んでいたおばあさんのところで完売となってしまう、そのすぐ後ろに並んでいた小さな女の子を連れていた母親はマスクを買うことができなくなったのを知るとそのおばあさんは（私は年寄りだから若い次の世代の人が使いなさい）とその整理券を母親に渡しました。母親はお礼を言ってマスクを買い、直ぐにおばあさんのところに行きマスクを1枚渡しました。私はなんだか心がほっこりしました」というもの。運転しながら胸が熱くなりました。そしてもう一つ伝えたい話は防災のセミナーでの話です。有名な防災・危機管理アドバイザーの講話の最後に東日本大震災で救助活動をしていた自衛隊の人が川に流され流木に傷だらけでしがみついている老婆を助けようと声をかけると、その夫人は「私は大丈夫です。この先に私より若い方が流されています。その若い方を先に助けてあげてください」と言ったそうです。人間には人を想い合う、助け合う心が有ります。又、その心が正しい判断、行為を導かせます。

阪神淡路大震災では役所の方がコンビニや商店に連絡して店が少しでも開けられるなら物資を販売してくださいと言って回ったので店のガラスを割って物を盗んだり強盗騒ぎなく、逆に店の前できちんと並んで一人が買い占めるのではなく分かち与えて復興を速めた実績があります。一人は皆のためにみんなは一人のために。これが人間だと思ふのです。会社の仕事も全く同じです。こうゆう人がたくさんいる会社は生き残ります。発展します。桜の開花が例年よりさらに早くなると言います。お気に入りの場所で日本の象徴でもある桜を見ながら日本人の心を＝皆さんの心根を見つめ直してみてください。身も心も温かい春がきっと迎えられるですよ♥



3月にお誕生日を迎える方



3月8日 平塚全農便 新原克彦      3月22日 平塚豊洲便 石川耕三  
3月25日 本社横低便 中村慶孝      3月27日 本社アルバイト 鈴木基寛